

事務事業評価シート(平成19年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名			
08003	学校給食事業	教育委員会	学務係	白鳥 義政	百瀬 辰夫			
		一次評価年月日	平成 20 年 7 月 30 日	連絡先(内線)	2503			
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)			
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別	1020	小学校給食事務			
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別	1039	中学校給食事務				
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	5章	まなび合う社会の創造			
		節	(コード選択)	2節	学校教育の充実を図る			
		項[基本施策]	(コード選択)	522	教育環境の充実			
主な取り組み		(コード選択)	5222	安心して安全な給食の提供				
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/>	第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/>	主要業務報告	<input type="checkbox"/>	その他
事務期間	(開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町内の小中学校の児童生徒、職員

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

健康で豊かな気持ちで学校生活を送ることを目指し、児童生徒の食生活の基本を身につけ、給食を通じ健康管理が出来るようにする。また、給食活動を通じ豊かな心を育てる。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 栄養士による栄養バランスの献立を作る
- 調理員が献立表に基づき調理する
- 食事を通じて栄養士が食生活の大切さを教える
-

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	年度(見込み)
①	指標名	栄養士の配置人数	5	5	5	5	5
	説明	小中学校に栄養士を配置	目標値設定の根拠				
②	指標名	食育指導対象児童生徒数	1,621	1,603	1,623	1,620	1,620
	説明	食事の重要性、個別指導、マナー等食育指導を行う児童生徒数	目標値設定の根拠				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	年度(見込み)
①	指標名	学校給食を受けた児童生徒数	1,621	1,603	1,623	1,620	1,620
	説明	学校給食を受けた児童生徒数	目標値設定の根拠				
②	指標名						
	説明		目標値設定の根拠				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	86,921	95,771	95,749	95,749																
対前年比		%		110.2	100	100																
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		(千円)	71,704	84,333	83,749	83,749																
B) 一般財源(税金)		(千円)	15,217	11,438	12,000	12,000																
①事業費		(千円)	13,198	11,439	11,500	11,500																
対前年比		%		86.7	100.5	100																
②人件費の概算		(千円)	73,723	84,332	84,249	84,249																
対前年比		%		114.4	99.9	100																
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費											
			H19	H20	H21	H19	H20	H21	H18	H19	H20	H21										
町職員(正規職員)			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	11.49	11.58	11.58	10.00	11.49	11.58	11.58	62,150	72,547	72,449	72,449			
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート									10.00	10.00	10.00	12.00	0.00	0.00	0.00	11,573	11,785	11,800	11,800

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	B	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	C	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり 民間委託、職員の臨時化の答申がでており、検討するなかで決めていく D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	A	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している PTA・給食委員会の中で把握 C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

学校給食検討委員会の答申を受け、今後協議・検討し見直しを考える

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

答申を受け、教育委員会で1年を目途に民間委託が調理職員の臨時化について検討していく

20年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

職員の臨時対応等で考える

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

学校給食から、児童・生徒が食生活の基本を身に付ける。また食教育により、栄養バランス・食材等も学び豊かな心を保つ為には、学校給食は大切である。コストの面では、検討委員会からの答申を、関係業者・機関と調整をとりながら方向を決めて行く。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



c 上記 a~e を選択